

これまでの瀬戸内市における地域活性化の取組

1 観光振興について

瀬戸内市は、豊かな自然と長い歴史と人々の営みにより育まれた固有の観光資源、伝統に培われた郷土の文化・芸能、物産品などが豊富に存在している。中でも、日本の朝日百選と夕日百選に選ばれた瀬戸内海の風景、備前長船の刀剣の里、かつて中国地方随一の商業都市であった備前福岡の史跡、大正ロマンの詩画人である竹久夢二の生家などは全国に誇れる観光資源である。

一方、これまでの観光は、都市部の旅行会社が旅行者のニーズを把握し、商品を企画・開発する「発地型」であったのに対し、近年の観光スタイルは、消費者志向の多様化にともない、地元の人しか知らないような穴場や楽しみ方が求められるようになり、観光目的地側主導で企画・開発を行う「着地型」が見直されている。

こうした中、瀬戸内市を訪れる観光客数が年々減少していることから、旅行者の多様化する価値観やニーズを適確に捉えた独自の戦略が必要となっており、瀬戸内市の地域資源・素材などを最大限に活用して、地域が一体となり他地域との差別化や固有の観光イメージを創出することが大きな課題となっている。

このため、平成 20 年 3 月に瀬戸内市観光振興計画（参考資料 1）を策定し、

- (1) 県内外でのプロモーション活動の実施
- (2) 観光モデルコースや広域観光ルートの設定
- (3) 歴史や文化に起因するイベントの開催
- (4) 教育旅行誘致推進事業を中心とした体験型観光の推進
- (5) せとうちフィルム・コミッション事業によるロケ地観光の推進
- (6) ホームページの充実による情報発信

など、幅広い人々を対象とした多様な取り組みを行っている。

しかしながら、戦略的に展開されておらず総花的な取組になっているため、かえって瀬戸内市の魅力が見えづらくなっていると考えられ、財政事情の厳しさも相まって、より有効的・効果的な取組みが求められている。

2 環境政策について

平成 18 年度に環境に配慮したまちづくりを進めるための環境施策の推進方策を示した「瀬戸内市環境基本計画」（参考資料 2）を策定し、これを上位計画として、平成 20 年度に「瀬戸内市地球温暖化対策地域推進計画」（参考資料 3）、平成 21 年度に「瀬戸内市地域新エネルギービジョン」（参考資料 4）を策定したところである。

地域新エネルギービジョンにおいて、瀬戸内市の交通はほとんど自動車が利用されているため、瀬戸内市の CO₂ エネルギー消費の構成比では運輸部門が 41%と全国平均の

24%に比べ、非常に高い割合となっていることから、瀬戸内市が低炭素社会に向かう上で、運輸部門の対策が重要となっている。

このため、地球温暖化対策地域推進計画で示したCO₂削減重点プロジェクトの一つである行政と事業者が連携した「街ごとノーカーデー」の取組強化を図っており、現在、市役所職員を対象として岡山県下統一の年2回のノーマイカーデーへの参加を含め、年4回実施している。

しかしながら、「街ごとノーカーデー」の目標である市役所職員を対象とした月1回程度の実施にはほど遠く、また、事業者との連携による共同実施についても、事業者側のCO₂削減等の取組みが事業者又は事業所単位で行われており、取組内容や取組レベルも様々であることなどから、調整が進んでいない状況にある。

今後、既存の取組みの継続・普及拡大を図るとともに、市内共通となる新たな取組みの設定と情報発信を行うなどにより、取組レベルのボトムアップを図る必要がある。

3 今後実現を目指していく地域イメージ

年間を通じて気候が温暖で好天日数が多いという地域特性を活かし、近距離の通勤や買い物などの個々人の日常生活や地域の経済活動の中に「自転車」を積極的に取り入れることにより、「エコでスマートなライフスタイルとまちづくり」を行う“瀬戸内市 bike biz”の実現を目指す。

このため、

- (1) 行政、市民、企業、学識経験者等が構成員となる「瀬戸内市 bike biz 推進協議会」を設置する。
- (2) 瀬戸内市の観光資源を活用し、①自転車利用の初心者から上級者まで誰でも楽しめる自転車観光ルートの設定、②携帯端末・GPSを活用した自転車観光ルートマップの作成等を行う。

さらには、③自転車タクシーの導入、④宿泊施設や観光施設等における自転車メンテナンスサービスの提供、⑤自転車が走行する沿道の景観や自然環境の保全整備などを行い、「自転車で訪れたいくなる、乗りたくなる地域づくり」を行う。

これらを通じて独自の観光振興を図るとともに、市民が地域の再発見を行うことで地域に対する「誇り」や「絆」の再生に繋げる。

- (3) 自転車通勤用のルートマップ作成、事業者等と連携した自転車通勤促進の取組など、自転車通勤者に対する各種インセンティブを設けることにより、自動車通勤から自転車通勤への転換を促し、「自転車通勤が継続可能な地域づくり」を行うことで、低炭素社会づくりや市民の健康維持増進を推進する。

瀬戸内市緑の分権改革 調査事業

平成22年9月27日

瀬戸内市bike biz推進協議会



Contents

1. 瀬戸内市のbike bizにおける
基本スタンスとキーコンセプト P3
2. 調査の進め方 P8

瀬戸内市bike bizに関する基本スタンスとキーコンセプト

- 緑の分権改革の考え方に沿って、以下のスタンスで取り組みたいと考えている。

基本スタンス

複数年のビジョンで
捉える

継続的に根付く取組み
を想定

『新しい公共』
地域の主体的な創
意工夫を活かす

瀬戸内市の地域資源
を
活かした展開とする

ハードよりもソフトを
重視する

ソフト重視で投資を抑
え、効果的に展開する

キーコンセプト

『自転車が行きやすいまちづくり』

安全

事故やトラブルの少ない

安心

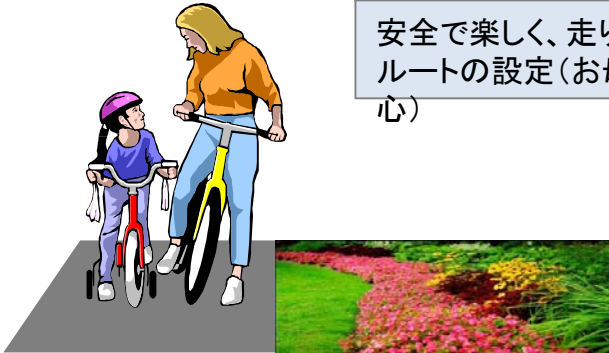
故障や体調不良時にも対応
できる

楽しい

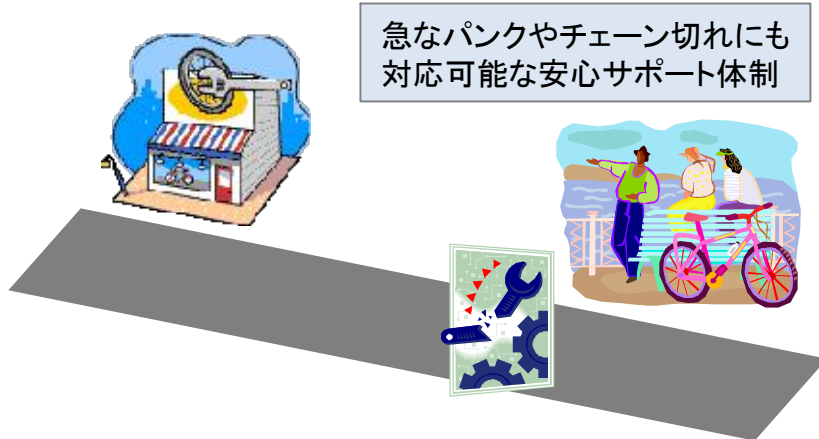
コンテンツやインセンティブの
充実した

自転車に乗る人にとって優しいまち。
乗る人が楽しみを分かち合えるまち。

自転車が走りやすいまちのイメージ



安全で楽しく、走りやすい
ルートの設定(お母さんも安心)



急なパンクやチェーン切れにも
対応可能な安心サポート体制

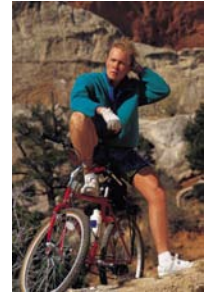
路上看板のイメージ



Bike
Information

この先、坂道が続きます。
初心者の方は、
ゆっくり上がりましょう

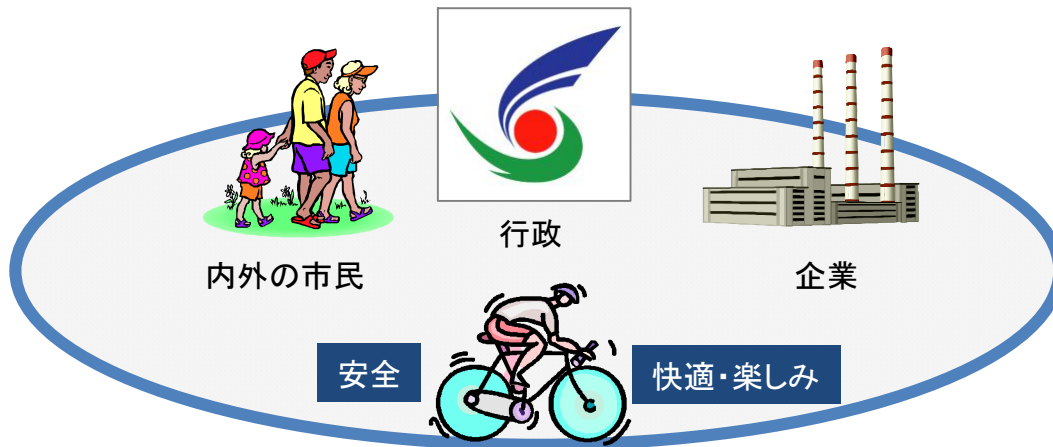
上級者の方は、
もう少し頑張ってみましょう



こうした心遣いが、自転車愛好家のみならず、初心者にとっても嬉しい。
他のまちにはない、瀬戸内市ファンを創出する材料に！

目指す目標

『自転車が走りやすいまちづくり』を通じて、



新たな観光需要の創出

低炭素な社会づくり

地域の活性化

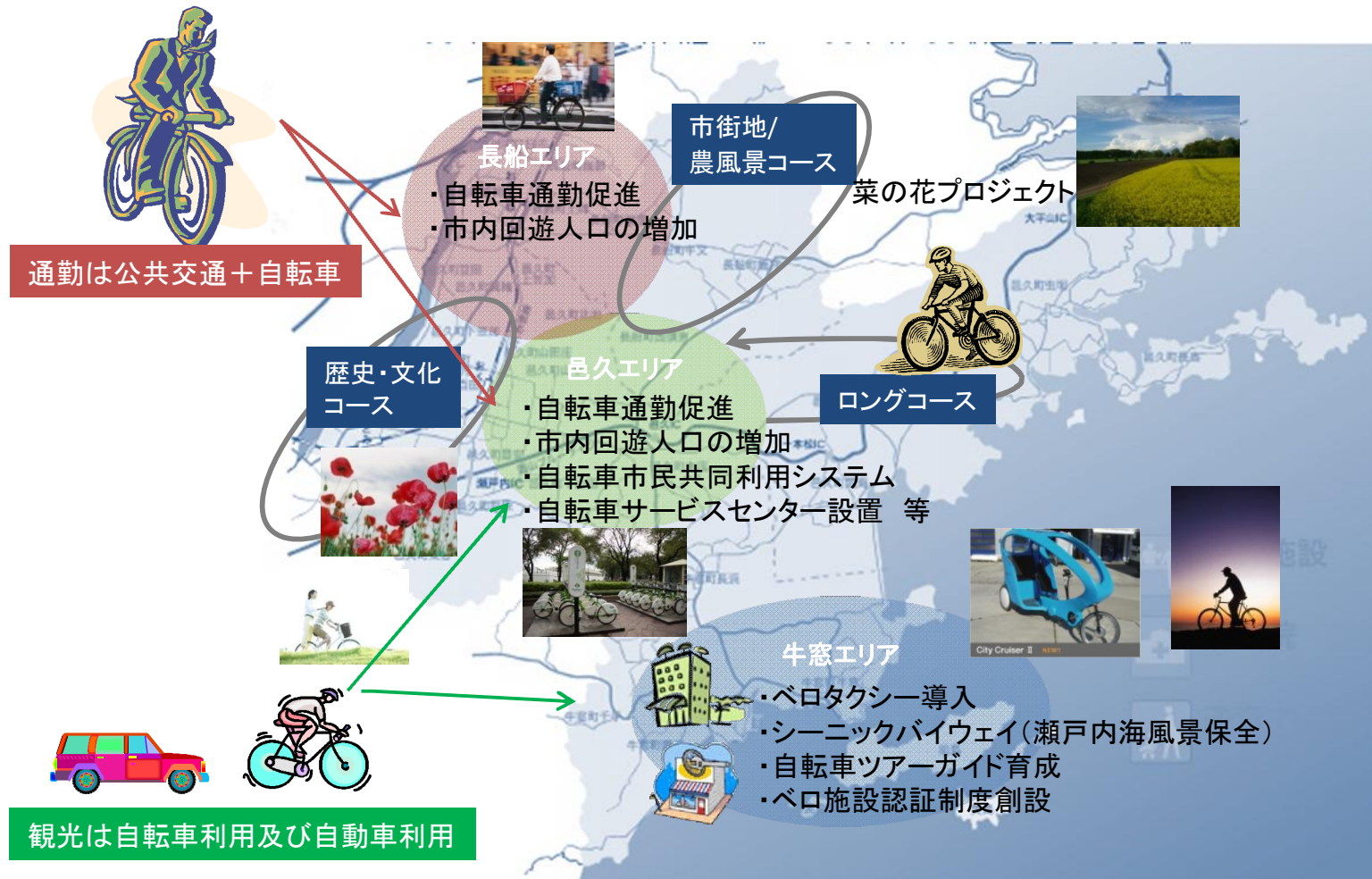
市民の健康づくり

地域の「誇り」や「絆」
の再生

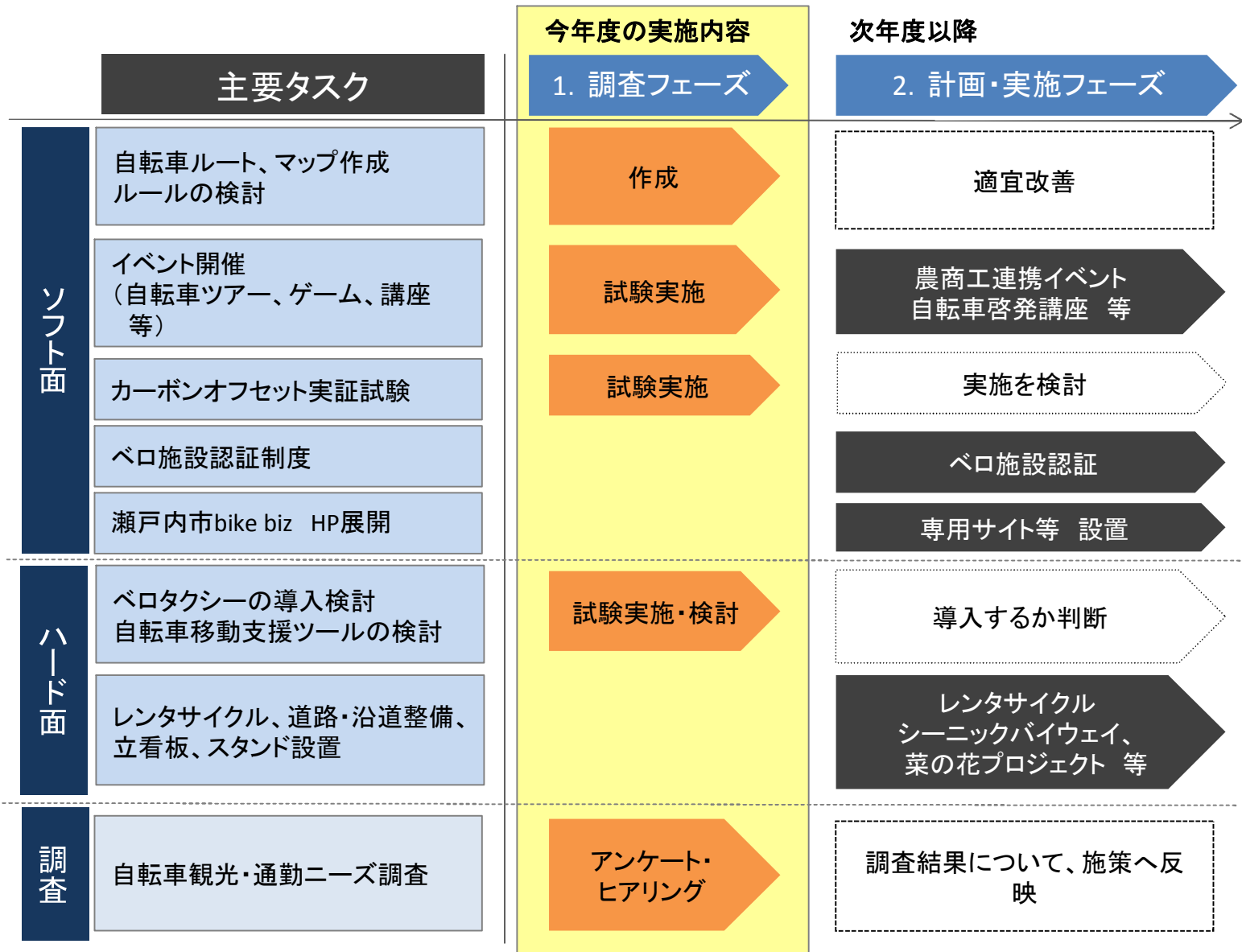
『エコでスマートなライフスタイルとまちづくり』
瀬戸内市bike bizの実現を目指す

全体構想

● 瀬戸内市bike bizの全体構想



全体ロードマップ



2. 調査の進め方

(1)ア 自転車ルートへの検討 (通勤も同様)

自転車愛好家、大学生らとワークショップ形式で
地図を広げ、ルートを選ぶ



実際に走りながらルートを特定していく

交通量の少ない道路、
農道、林道等『安全な道』を利用

警察等から自転車利用ルールに
ついてヒアリング

『おもしろさ』を追求
(意外な隠れSpotなどを発掘)

(1)イ 自転車移動支援ツールの検討

検討に際しては、移動のサポートだけではなく、楽しさをプラス



ソフト・ハードの使い勝手、インターネットとの相性、
自転車ツアー、各種コンテスト等への展開のしやすさも考慮。

コンテスト表彰の例:) 坂道一番で賞、距離一番で賞、変わり種ルート賞

(1)ウ 自転車ツアーの開催

ツアーとツーリングの合計2回開催

1. 自転車観光ツアー

(観光向けルートの実験として実施)

ルート上の拠点について、クイズ方式でツアーを開催
同時に、道中での写真をコンテスト形式で表彰

2. トレジャーハントツーリング26

(地元再発見のゲームとして実施)

自転車版のオリエンテーリング(まちのお宝探し)として、
地元・観光客ともに瀬戸内市の魅力を再発見

○ トレジャーハントツーリング26

まちのお宝、みいつけた!
自転車さんぽ **THT 26**
トレジャーハントツーリング

地図を片手にお宝巡り!
運を味方に自転車さんぽ!
<http://www.bike-joy.com/THT26-sanpo.htm>

諏訪1 長野県 11/3 土	諏訪2 長野県 11/4 日	雲南 島根県 11/4 日
八雲 島根県 11/11 日	大阪 大阪府 11/23 水	彦根 滋賀県 11/25 金
柳井 山口県 12/2 土	東京1 東京都 12/8 土	東京2 東京都 12/9 日

詳しくは裏面をご覧ください

地球を楽しみたい
RITWAY
PRODUCTS JAPAN





参加者 募集中

四季のある日本では、サイクリングのベストシーズンが2度あります。モエギの季節と、モミジの季節です。地図を片手に街のお宝を巡って、オンライン・トレジャーを推理して、協賛賞品をゲットしよう!

観光研2007申込事務局：〒249-0008 神奈川県逗子市小坪3-5-7 TEL090-5573-9372
FAX03-4477-4661 Eメール tenyuken@aol.com URL <http://www.bike-joy.com/THT26-sanpo.htm>

■参加費 *一般:1500円、*高校生以下:1000円、*グループ&ファミリー:代表1500円+メンバー500円×人数

■申込方法 所定の用紙に必要事項を記入の上、1人毎に切手500円分を同封し、実施日の10日前までに事務局やプラントへお申し込み下さい。残金は当日受付で集金いたします。また、ホームページよりWeb申込も可能です。(定員30名)

*参加費と申込方法は、会場によってことなる場合もあります。詳細は裏面をご参照下さい。

まちのお宝、みいつけた!
自転車さんぽ **THT 26** 11/23/08
OSAKA



 1. 宝探し1 1. 宝探し1 2. 宝探し1 3. 宝探し1	 2. 宝探し2 1. 宝探し2 2. 宝探し2 3. 宝探し2	 3. 宝探し3 1. 宝探し3 2. 宝探し3 3. 宝探し3	 4. 宝探し4 1. 宝探し4 2. 宝探し4 3. 宝探し4	 5. 宝探し5 1. 宝探し5 2. 宝探し5 3. 宝探し5
 6. 宝探し6 1. 宝探し6 2. 宝探し6 3. 宝探し6	 7. 宝探し7 1. 宝探し7 2. 宝探し7 3. 宝探し7	 8. 宝探し8 1. 宝探し8 2. 宝探し8 3. 宝探し8	 9. 宝探し9 1. 宝探し9 2. 宝探し9 3. 宝探し9	 10. 宝探し10 1. 宝探し10 2. 宝探し10 3. 宝探し10
 11. 宝探し11 1. 宝探し11 2. 宝探し11 3. 宝探し11	 12. 宝探し12 1. 宝探し12 2. 宝探し12 3. 宝探し12	 13. 宝探し13 1. 宝探し13 2. 宝探し13 3. 宝探し13	 14. 宝探し14 1. 宝探し14 2. 宝探し14 3. 宝探し14	 15. 宝探し15 1. 宝探し15 2. 宝探し15 3. 宝探し15
 16. 宝探し16 1. 宝探し16 2. 宝探し16 3. 宝探し16	 17. 宝探し17 1. 宝探し17 2. 宝探し17 3. 宝探し17	 18. 宝探し18 1. 宝探し18 2. 宝探し18 3. 宝探し18	 19. 宝探し19 1. 宝探し19 2. 宝探し19 3. 宝探し19	 20. 宝探し20 1. 宝探し20 2. 宝探し20 3. 宝探し20
 21. 宝探し21 1. 宝探し21 2. 宝探し21 3. 宝探し21	 22. 宝探し22 1. 宝探し22 2. 宝探し22 3. 宝探し22	 23. 宝探し23 1. 宝探し23 2. 宝探し23 3. 宝探し23	 24. 宝探し24 1. 宝探し24 2. 宝探し24 3. 宝探し24	 25. 宝探し25 1. 宝探し25 2. 宝探し25 3. 宝探し25
 26. 宝探し26 1. 宝探し26 2. 宝探し26 3. 宝探し26	 27. 宝探し27 1. 宝探し27 2. 宝探し27 3. 宝探し27	 28. 宝探し28 1. 宝探し28 2. 宝探し28 3. 宝探し28	 29. 宝探し29 1. 宝探し29 2. 宝探し29 3. 宝探し29	 30. 宝探し30 1. 宝探し30 2. 宝探し30 3. 宝探し30

(1)エ ベロタクシーを用いた観光検討

瀬戸内市 ベロタクシーコース候補



(1)才 自転車による観光需要調査

観光アンケートの考え方

1. エリアを分散して実施

観光エリアごとに客層が異なり、ニーズも様々なため、分散して調査する。

2. 観光客側・受入れ側の双方を調査

顧客ニーズだけではなく、受入れ側のニーズを把握することで双方向の調査が可能。

● アンケートの概要

アンケートの対象		調査場所	調査予定の内容
観光客	イベント参加者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自転車観光ツアー 実施会場 ■ ベロタクシー実証実験 会場（前島を想定） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ レンタサイクルや観光コース、 ■ ベロタクシーへの関心 ■ サイクリングイベント 等 <p>自転車利用による観光に関する需要量・ニーズを把握</p>
	一般観光客	<ul style="list-style-type: none"> ■ 邑久エリアの道の駅を想定 	
施設	ペンション、ホテル、飲食店	<ul style="list-style-type: none"> ■ 宿泊系は牛窓エリア ■ 飲食系は、エリアを分散して実施 予定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自転車観光客ニーズの現状認識 ■ 今後の展望 ■ 受入れサポート体制 等 <p>を調査</p>

(2)ア 自転車通勤への転換

企業への調査

1. 企業側へのヒアリング

企業が自転車通勤を前向き評価し、取り組むための要件について、ヒアリングを実施

2. 企業側・社員側の双方を調査

企業の意向だけではなく、従業員側のニーズを把握することで双方向の意見を調査可能
⇒制度設計に関する有効な情報を入手する

(2) イ カーボンオフセットと自転車普及制度



移動距離メーター

自転車通勤での移動距離を計測
ガソリン削減換算し、CO2削減量を算出

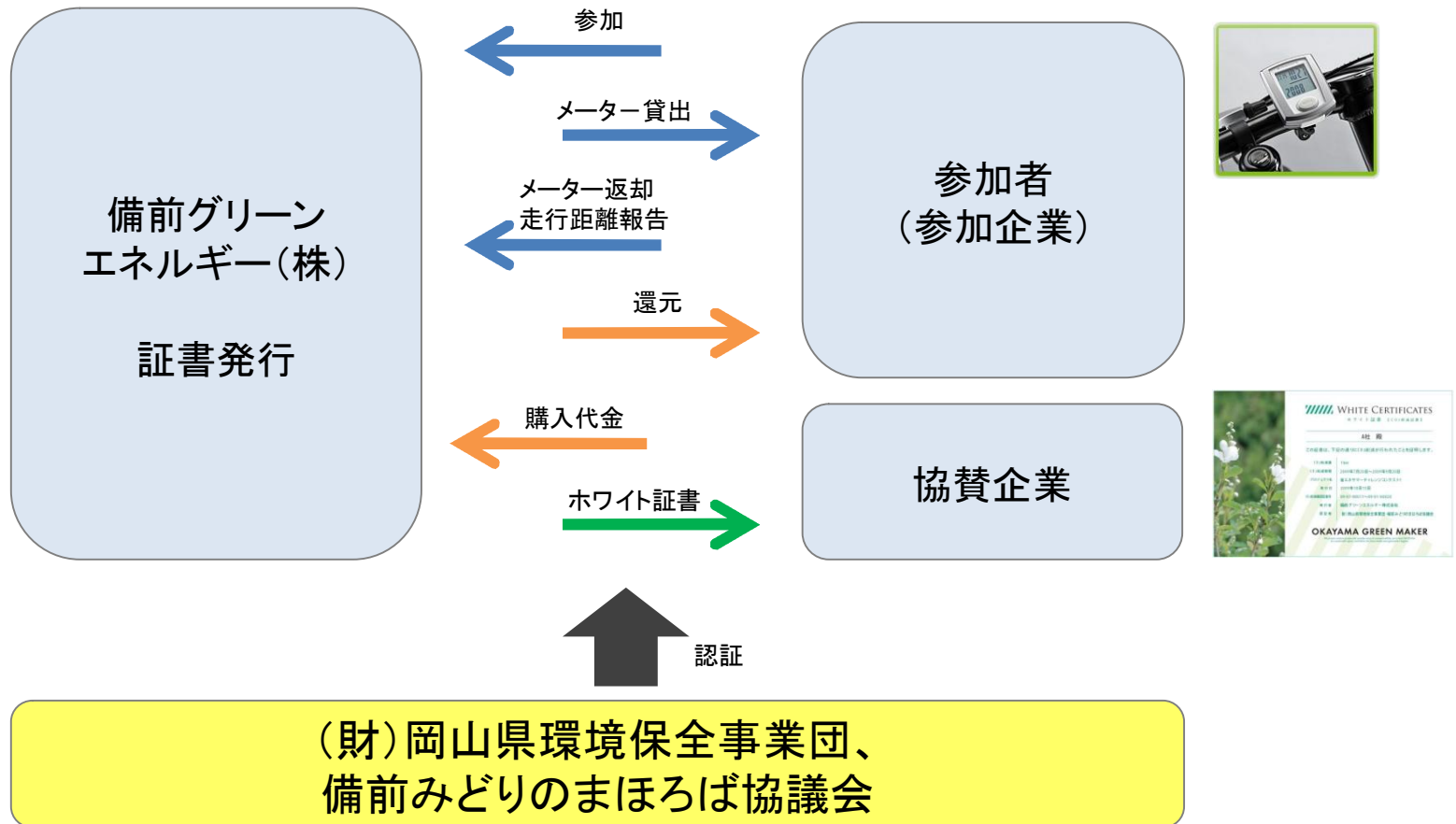


岡山ローカルで発行で可能な
『ホワイト証書』を活用
(地産地消でのカーボンオフセットを展開)



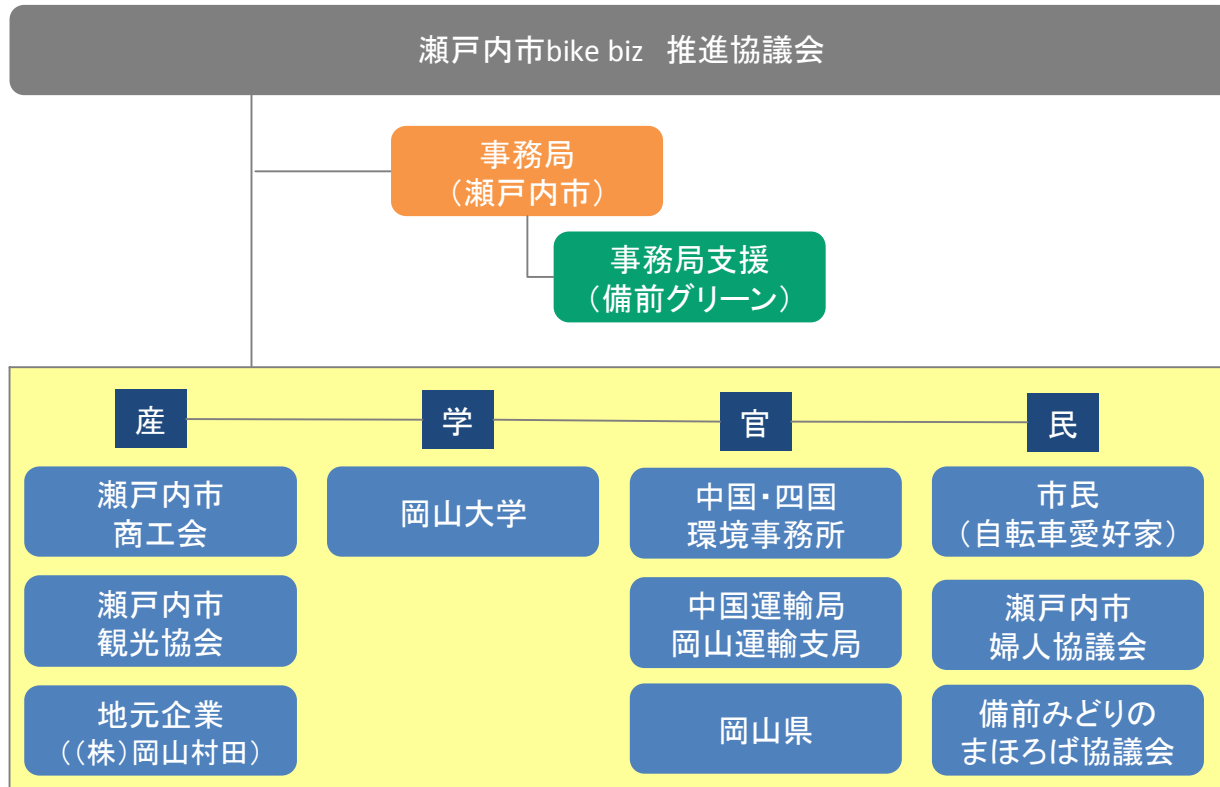
ホワイト証書イメージ

ホワイト証書のスキーム



(3) 瀬戸内市bike biz推進協議会運営

● bike biz推進協議会の運営体制(順不同・敬称略)

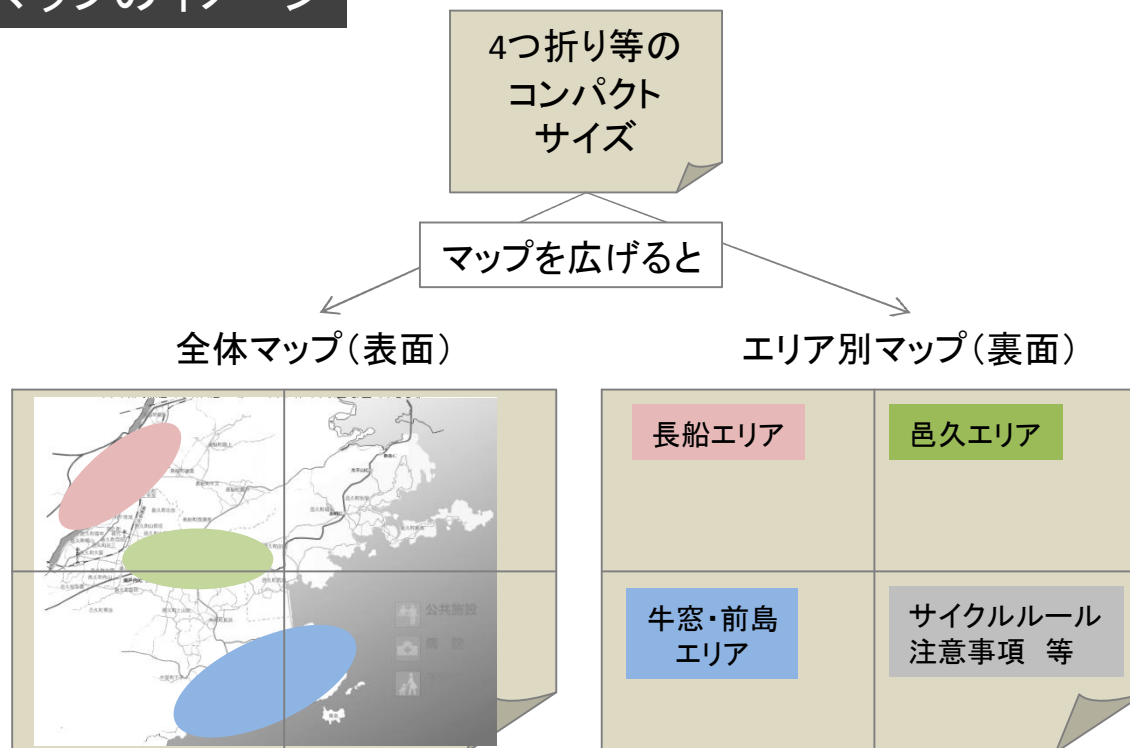


調査工程表

瀬戸内市緑の分権改革調査事業委託業務 事業実施計画工程表

		提案者 社名		備前グリーンエネルギー株式会社						
年月	業務内容	平成23年								
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 観光における自転車利用について										
	ア. 自転車観光ルートを検討			準備	ワークショップを行い 検討を進める		(1)ウ、オの結果を 受け再検討			
	イ. 携帯端末・GPS等を使った 自転車移動支援ツールの検討			準備	検討		(1)ウの結果を受け 再検討			
	ウ. 自転車観光マップを用いた 自転車観光ツアーの開催				準備	THT開催	ツアー開催			
	エ. ペロタクシーを用いた観光の検討			調査検討・準備	社会実験		検討・分析			
	オ. 自転車による観光需要等調査					調査	分析			
(2) 自転車通勤への転換について										
	ア. 企業における自転車通勤に 対する需要把握			準備	調査・ヒアリング		分析			
	イ. 自転車通勤ルートを検討			準備	ワークショップを行い 検討を進める		(2)アの結果を受け再検討			
	ウ. 自転車利用とカーボンオフセットを 組み合わせた自転車利用普及制度の検討			準備	社会実験		証書発行・販売			
	(3) その他 “瀬戸内bike biz”推進協議会運営支援			準備	開催		準備	開催	準備	開催
	報告書等の作成						まとめ	中間報告	最終 まとめ	

観光マップのイメージ



- 携帯性に優れたコンパクトサイズとする
- デフォルメを施して、見やすくする
- サイクルルールや安全上の注意事項等を記載

ソフトウェア

セカイカメラの利用イメージ



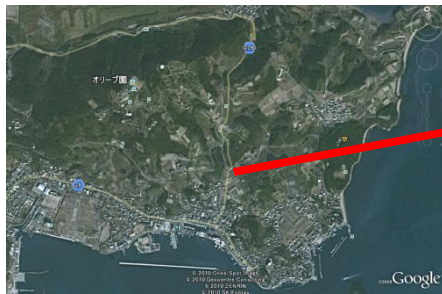
エアタグ

長船駅前



Google Panoramio

Google社に写真を投稿し、
Google earth 上に写真を反映していくことができる



インターネットサイト

ペタマップ: 自転車向けのナビとして利用可能。(SonyのNav-Uにて使用可能)
一般の方がスポット登録できる

18件の該当スポットがあります

岡山県瀬戸内市 周辺を表示しています

表示するスポットをジャンルで絞り込み

写真ありスポット 新着順

- 1 瀬戸内市邑久町公民館
2008.09.01/春らす
- 2 瀬戸内市役所
2008.09.01/春らす
- 3 邑久郵便局
2008.09.01/春らす
- 4 瀬戸内警察署福元駐在所
2008.09.01/春らす
- 5 瀬戸内市邑久町総合福祉センター
2008.09.01/春らす
- 6 瀬戸内市立邑久病院
2008.09.01/春らす
- 7 ESSO 邑久駅前SS / 長瀬石油(株)
2008.07.17/春らす
- 8 昭和シェル 邑久SS / (有)小林石油店
2008.07.17/春らす
- 9 藤原整形外科医院
2007.01.31/春らす

この辺りにスポットを作成

地図上のスポットを持ち出す

自転車のルート

スポットをタグで絞り込む

もっと見る

ハードウェア

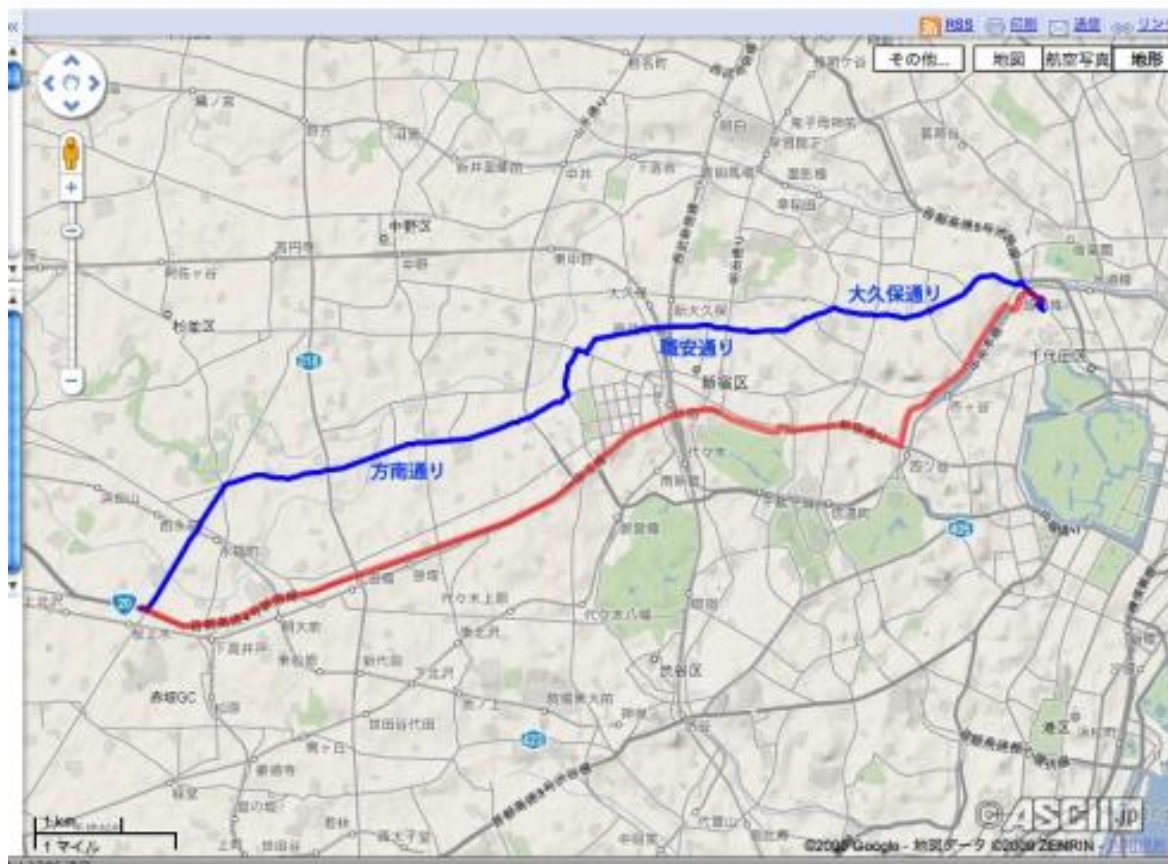
i-phoneやガーミン、Nav-U等の機種で使用感を確認



自転車装着イメージ
(自転車クレードル『NVA-BU2』使用)

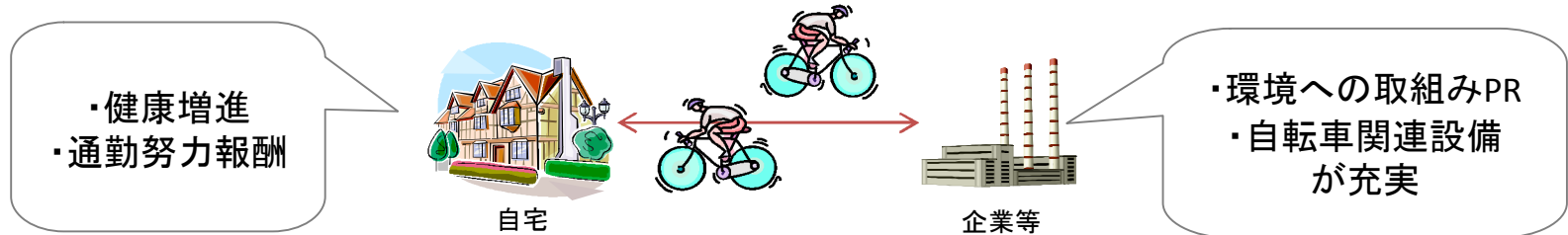
画面を拡大すると





融合性も検討
通行経路、標高、時間などをログとしてデータ保存、Google map等に反映できる

自転車通勤に関するインセンティブの例



	カーボンオフセット活用 インセンティブ(案)	自動車通勤手当活用 インセンティブ(案)
考えられる 支援措置(案)	自転車通勤によるCO2削減分の証書化・販売による、社内自転車関連設備の充実	自動車通勤手当の支給金額を「自転車通勤手当」として付替可能にする
企業のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ■証書販売収入 (自転車通勤関連設備に充当可能) ■先存取組による企業イメージの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車通勤推進企業、環境配慮型企业としてのPR効果 (太陽光発電等の設置のようなハードによらない環境貢献=投資額の少ない環境PR)
従業員のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ■健康増進 ■シャワー室、着替室、自転車スタンド等の充実(快適な自転車通勤の基盤整備) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ガソリン代金分が努力報酬となる

平成22年10月12日

第1回 瀬戸内市bike biz 推進協議会における主な意見

<共通>

- 自転車だけでなく、JR等の公共交通機関と組み合わせた検討が必要。
- 安全走行のためには農道の利用も重要となるが、農業者の理解を得ながら利用する必要。
- 個人の努力だけではなく、経済面や健康面などの効果を情報提供するなど、行政等によるバックアップが必要。

<観光>

- 目的地まで自転車を自動車に載せ運んでいる愛好家も多数おり、自動車を置く場所の確保が必要。
- 白線や看板の整備による安全面の確保、シーニックバイウェイなどの沿道の景観整備、隠れスポットの案内などのソフト面での楽しさが重要。見どころのある地域に自転車愛好家が集まっており、おもしろいアイデアが必要。
- 最近では自転車の専門雑誌が多数出版されており、マスコミに取り上げられる企画・取組を考えれば自転車愛好家や観光客の誘致の向上に繋がるのではないかと。

<自転車通勤>

- 市内企業の雇用者の市内在住者と市外在住者の割合によって、施策の検討方向が違ってくるため、雇用者のデータ把握が必要。
- 自転車を2台所有し、パークアンドライド方式で、自宅から最寄り駅、会社の最寄り駅から会社まで自転車を利用する通勤者も増えており、盗難の心配のない駐輪場の整備が重要。
- 自転車通勤は、企業イメージのアップに繋がるが、自転車通勤手当、シャワー室や更衣室の完備など、実施者にインセンティブが必要。
- 自転車通勤だけでなく、買い物等の日常生活の中で近距離移動であれば自転車利用を進める必要。その場合、自動車に比べ買い物量が減少するなどの問題点もあり、そうした利便性の低下に対する検討も必要。